

平成23年度第2回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成23年12月 5日（月）中央合同庁舎第2号館 国土交通省共用会議室 5	
委員	委員長 浅野 正一郎（国立情報学研究所教授） 委員 廣渡 鉄 （廣渡法律事務所 弁護士） 委員 高田 和幸 （東京電機大学理工学部准教授）	
審議対象期間	平成23年 4月 1日～平成23年 9月30日	
工事	抽出案件	1件
	一般競争	1件
	公募型指名競争	0件（対象案件なし）
	通常指名競争	0件（対象案件なし）
	随意契約	0件（対象案件なし）
建設コンサルタント 業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署 工事・一般競争	0件	
合計	3件	
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	なし	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>[工事] 一般競争（政府調達に関する協定適用外） <b>【中央合同庁舎3号館7階改修工事】</b></p> <p>○低入札調査において、資機材の積算価格が市場価格と乖離があったかどうかを調査しているのか。</p> <p>○競争参加資格審査で求めている工事实績は国交省発注案件に限られるのか。</p>	<p>○積算価格は市場価格を調査した上で設定しているので、低入札調査においては実施していない。</p> <p>○民間の受注実績も認めている。</p>
<p>[建設コンサルタント業務等] 一般競争 <b>【航空交通管制情報処理システム 洋上管制処理システム システム設計】</b></p> <p>○データベースを構成するシステムはそれぞれ別の業者が受注するのか。</p> <p>○システムを分けて発注したために課題が残ったことはないか。</p> <p>○各社の入札価格に大きな差があるが、機会の均等は確保されているのか。</p>	<p>○それぞれを一般競争入札で選定するため、別の社になることもあれば、同じ業者になる場合もある。</p> <p>○競争の門戸を広げる意味合いもあり、分けて発注したが、今のところ問題は生じていない。</p> <p>○各社とも航空のシステム設計を手掛けたことのある会社であり、基本設計書を見れば業務内容は理解出来るので機会は均等に確保されている。</p>

意見・質問	回 答
<p>[役務及び物品] 一般競争 【I L S - 9 1 F型 I L S 装置 4 式の製造】</p> <p>○ I L S を製造できる会社は日本に何社あるのか。</p> <p>○過去の価格と比べてどうなっているか。</p> <p>○単価の予定価格の算定はどのように行うのか。</p>	<p>○現在はこの 2 社だけで、製造実績もその 2 社だけである。</p> <p>○概ねは同程度の価格となっている。</p> <p>○基本的には会社からの見積もりを基に当局で査定を加え設定している。</p>